

授業科目	子ども家庭支援論					実務家教員担当科目	-				
単位	2.	履修	選択	開講年次	4	開講時期	前期				
担当教員	文屋 典子										
授業概要	現代の子育て家庭の状況と家庭を取り巻く社会的状況をとりあげ、子育て家庭に対する支援の考え方、方法、課題について解説する。子ども家庭支援施策や実施体制について理解すると同時に、多様な支援ニーズを抱える対象に対する子ども家庭支援事例等の検討を通して、子どもと家庭を支える社会資源について理解を深め、子ども家庭支援の具体的展開について考察する。										
授業形態	講義			授業方法	グループワーク、ディスカッション						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育て家庭に対する支援の意義・目的を説明できる。 2. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について説明できる。 3. 子育て家庭に対する支援の体制について説明できる。 4. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状・課題について考察し、意見を述べることができる。 										
理想的レベル	現代の社会的状況と子育て家庭の状況について理解し、子育て家庭のニーズに応じた支援の展開について、多機関連携や社会資源の活用等を含めた多角的かつ多様な支援の可能性を提案することができる。同時に、子育て支援の現状・課題について自分なりの意見を述べるができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）				備考					
試験											
小テスト											
レポート		70%									
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他		30%				グループワークへの参加度、授業やディスカッションでの発言内容等により評価する。					
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21612J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
授業内容についての復習										4	
授業計画											
第1回	テーマ：子ども家庭支援の意義と役割 子ども家庭支援の意義と必要性、子ども家庭支援が必要とされる社会的状況について解説する。										
第2回	テーマ：現代社会と家庭生活 家族の定義、現代社会と家庭生活、家族の機能、家族観・子育て観について解説する。										

第3回	<p>テーマ：子育て家庭のニーズと子育て支援事業・施策</p> <p>子ども家庭福祉行政のしくみ、子育て家庭のニーズと子育て支援施策・子育て支援事業について解説する。</p>
第4回	<p>テーマ：保育の専門性を生かした子ども家庭支援</p> <p>保育者の専門性と保育者による子ども家庭支援の意義と基本について解説する。</p>
第5回	<p>テーマ：保育者に求められる基本的役割と姿勢</p> <p>子どもの育ちを中心に据えた保護者との関係性構築、保育技術を活かした子育て支援や子ども家庭支援に求められる相談援助技術について解説する。</p>
第6回	<p>テーマ：保育士による子ども家庭支援の展開</p> <p>こども家庭支援における子どもと保護者の状況の把握、支援の計画、環境の構成、支援の記録、評価、カンファレンスの実施について解説する。</p>
第7回	<p>テーマ：社会資源の活用と関係機関との連携協働</p> <p>保育所が連携する地域の関係機関と専門職、多職種連携の方法、職員間の連携協働について解説する。</p>
第8回	<p>テーマ：次世代育成支援対策と子育て支援制度の推進</p> <p>子ども子育て支援制度における地域子ども子育て支援事業、次世代育成支援対策推進法と行動計画について解説する。</p>
第9回	<p>テーマ：妊娠に至るまでの時期と妊娠期の家庭支援</p> <p>不妊治療や若年妊娠の現状と支援、出生前診断、ハイリスク妊娠、分娩時の異常など、妊娠期の支援ニーズと家庭支援について解説する。</p>
第10回	<p>テーマ：新生児期・乳児期の子ども家庭支援</p> <p>新生児期・乳児期の子育てと支援ニーズ、子育て支援の展開と関係機関との連携・ネットワークについて解説する。</p>
第11回	<p>テーマ：保育所等を利用している子どもと家庭への支援</p> <p>日常的な保育、見守り、保護者との協働、保護者との相互理解など、保育所における子ども家庭支援の方法、意義と役割について解説する。</p>
第12回	<p>テーマ：地域の子育て家庭への支援</p> <p>地域の子育て家庭への支援の視点、保育の専門性や資源を生かした子育て支援、支援事業創出の取り組み例について解説する。</p>
第13回	<p>テーマ：要保護児童とその家庭への支援</p> <p>事例検討を通して、要保護児童とその家庭への支援の方法や具体的な支援展開について考察する。</p>
第14回	<p>テーマ：特別な配慮を要する家庭と子どもの支援</p> <p>貧困家庭や外国籍、養育者がメンタルヘルス問題を抱える家庭など、特別な配慮を要する家庭に対する支援事例を通して、関係機関との連携、支援の方法や具体的な支援展開について考察する。</p>
第15回	<p>テーマ：子ども家庭支援に関する現状と課題</p> <p>子ども家庭支援における多様な取り組みの現状と課題、展望について解説する。</p>
テキスト	<p>保育ニュースタANDARD</p> <p>「子ども家庭支援論 一保育を基礎とした子ども家庭支援一」</p> <p>編著者：太田光洋</p>

	著者：佐藤純子・大元千種・小田進一 他 同文書院
参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	令和4年版「少子化社会対策白書」 内閣府 その他、参考図書やデータベースを授業の中で紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	提出物にはコメントをつけて返却する。また、記述内容を授業の中で共有し、他者の視点や考えから学ぶ機会とする。
学生へのメッセージ・コメント	子ども家庭福祉に関する施策制度とサービス、保育士の専門性、ソーシャルワークの理論についてこれまで学んできたことを整理し、理解しておきましょう 制度やサービスの現状について理解することはもちろん、新聞などにも目を通し、子どもと家庭を取り巻く社会状況において「今、何が起きているか」に常に関心を向けていくことが大切です。また、白書などを通してデータを把握し、データに基づいた考察を行う習慣を身につけましょう。